

震災の教訓を共有しよう！

今こそ能登石川にエールを！

後援

北陸財務局

北國新聞社

日本金融人材育成協会

熱い金融マン協会

ジャパン・リスク・フォーラム

後援・運営協力

日本金融監査協会

地域デザイン学会・地域金融フォーラム

震災からの復旧・復興と

地域金融機関の役割

开会挨撈

法政大学 経営大学院
教授 石島 隆

イントロダクション

金沢学院大学 経済学部
教授 碓井 茂樹

趣 旨

- 災害大国ニッポン 震災の教訓を共有する
- 未来創造に向けて 被災地にエールを送る

震災の発生から 半年余りを振り返る

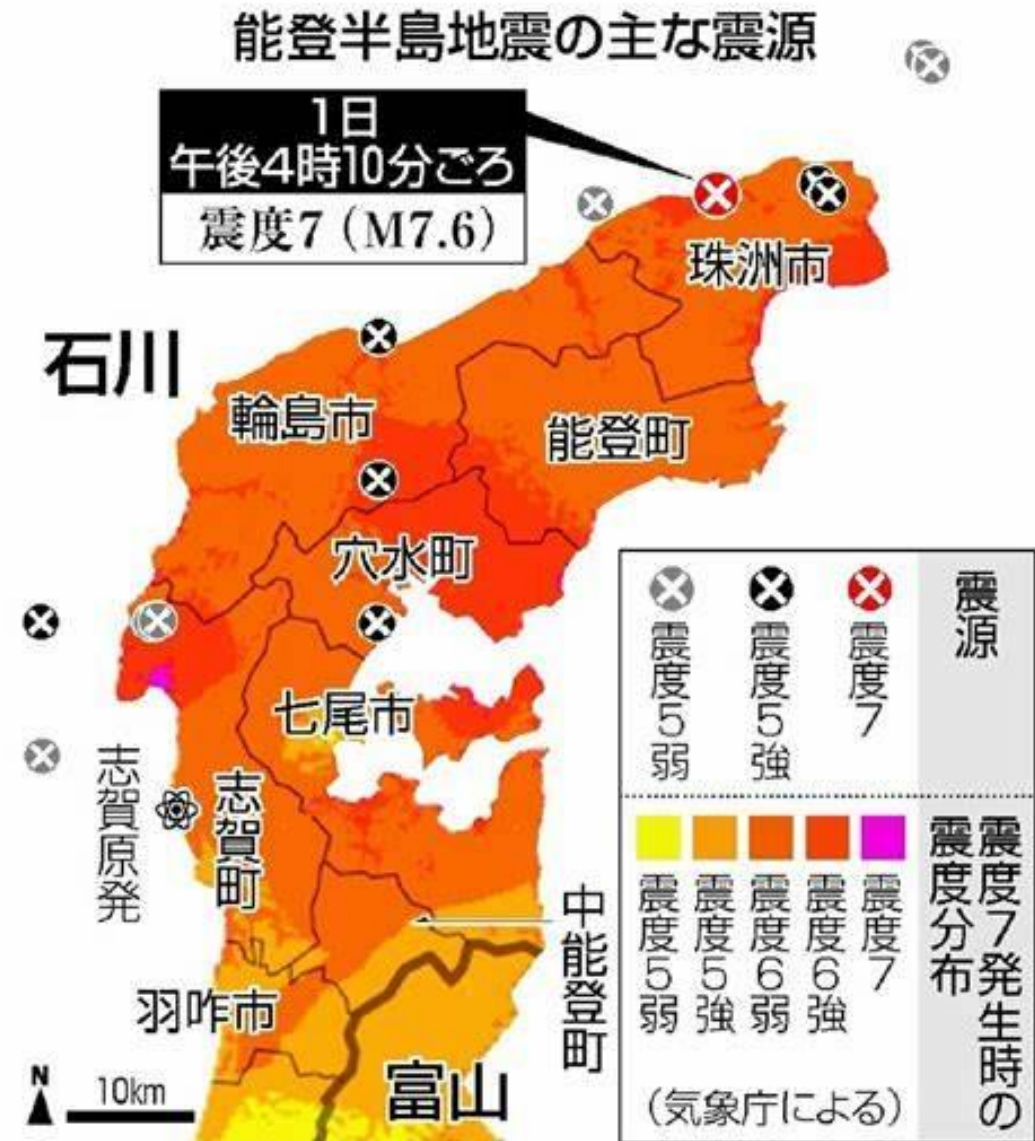
令和6年1月1日 能登半島地震

能登半島北部が
甚大な被害を受けた。

能登2市2町

- ・ 輪島市
- ・ 珠洲市
- ・ 能登町
- ・ 穴水町

七尾市、和倉温泉



死者 299人 うち災害関連死 70人
1月中の災害関連死 53人

—2024年7月末時点



二次避難の遅れ、問題点

- 被災後、雪も降り始め、被災者は命の危険にさらされた。
- 行政には市町村、県を超えた二次避難の実施が求められた。
- 命の危機にもかかわらず、住民の意向を過度に忖度したため、二次避難の選択が遅れた市町村も見られた。
- 東日本大震災では、原発事故に伴う大規模避難が行われたが、その後、市町村、県をまたぐ避難態勢の検討が行われた形跡はない。このため、今回も同様の混乱が起きたのではないか。
- 厳しい環境に置かれた被災地では災害関連死が起きる。
- スピーディーに安全な場所への二次避難がなされなかったことには悔いが残る。

【参考】 2 人的・住家被害等の状況（消防庁情報：7月30日14:00現在）

（1）人的・住家被害

都道府県	人 的 被 害							住 家 被 害						非住家被害		
	死者	うち災害関連死	行方不明者	負 傷 者			合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計	公共建物	その他	合計
				重傷	軽傷	小計										
人	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟				
新潟県				6	44	50	50	106	3,774		14	17,342	21,236		62	62
富山県				11	42	53	53	251	776			19,691	20,718		1,041	1,041
石川県	299	70	3	333	876	1,209	1,511	5,870	16,027	6	5	58,451	80,359	125	32,189	32,314
福井県					6	6	6		12			752	764		9	9
長野県												20	20			
岐阜県					1	1	1					2	2		1	1
愛知県					1	1	1									
大阪府					5	5	5									
兵庫県					2	2	2									
合 計	299	70	3	350	977	1,327	1,629	6,227	20,589	6	19	96,258	123,099	125	33,302	33,427

※富山県の公表情報において住家被害の「未分類」と表記されている情報は本表に反映していない

《死者の内訳》

【石川県】七尾市8人、輪島市130人、珠洲市114人、羽咋市1人、志賀町2人、穴水町26人、能登町18人

半島北部の道路・交通網や水道、ガス、電気等のインフラが寸断。

- 現状、通行止めの道路はほとんどなくなっている。
- 道路のいたる所にあった「地割れ」もアスファルトで埋められている。ただ、ナビには通行止めの情報が残っているため、誤った迂回路を指示してくる。
- 珠洲市などの一部地域では、まだ水道等が使えない地域が残る。



- 輪島朝市は火災で焼失。
- 現時点では、焼けた「がれき」が片付けられた程度。人影はほとんどみられない。
- 少し離れた地域に仮設住宅が建てられ、焼け出された住民が暮らしている。

8月14日 碓井撮影



輪島大祭、今年は規模は縮小も 被災の町を キリコが照らす。 2024年8月23日

巨大な灯籠

「キリコ」9本が、
倒壊した家屋の残る
道でぐるぐる回り、
仮設住宅の前を駆け
抜けた。

今が底。ここから
復興が始まる。



- 和倉温泉は護岸の崩れ、地盤の変動による被害が甚大。
 - 湯気の立つ海上で身を癒す白鷺を見て発見された。
 - 「湯の湧く浦」が由来。
 - 明治以降、海が埋め立てられて造成された温泉街。



- 和倉温泉の再開には少なくとも2～3年間かかると言われている。護岸工事や一部建物の建て替えに巨額の費用が掛かるとみられる。



8月14日
碓井撮影

- 全国各地には自然の脅威にさらされやすい環境に位置するホテル・旅館が少なくない。今後、災害への備えを見直す必要がある。

「公費解体」の遅れ。

- 能登半島地震では、11万棟を超える建物（住宅・非住宅）が被害を受けた。
- 全半壊した建物を自治体に取り壊す「公費解体」は2万棟を超える申請に対して、着手したのは5千棟弱。完了したのは全体の6%となる1,466棟に過ぎない。

（7月15日現在の公費解体の状況）

市町	申請棟数	着手棟数	完了棟数	公費解体	緊急解体	自費解体 （費用償還）
珠洲市	5,095	1,213	465	372	91	2
輪島市	7,003	986	242	94	139	9
能登町	1,913	530	99	94	2	3
穴水町	2,107	545	239	237	0	2
志賀町	2,883	410	134	34	9	91
七尾市	2,558	492	107	23	0	84
その他	1,850	522	180	60	4	116
16市町 計	23,409	4,698	1,466	914	245	307

想定数
を超えた

- 被災地のビル、家屋の公費解体は、行政と建設業者がボトルネックとなっている。
- 相続人が不明の「空き地」が周囲にあると同意書が揃わず、審査対象にすらならない。
- 地元の建設業者は廃業した先が多い。公費解体を請け負える業者はない。遠方の業者に依頼するが、宿泊施設がなく、往復に時間がかかる。
- 人手・資材の不足も深刻。



8月14日
碓井撮影



- 8月16日、七尾市の一本杉通り商店街で、被災地初の「仮設商店街」がオープン。
 - 「なりわい支援」が始まる。
 - のと共栄信用金庫の駐車場を利用。
- 他地域でも、これから仮設店舗」の建設、「なりわい支援」の取り組みが広がる予定。



一方で、能登地区の人口流出は進む

6か月間の転出

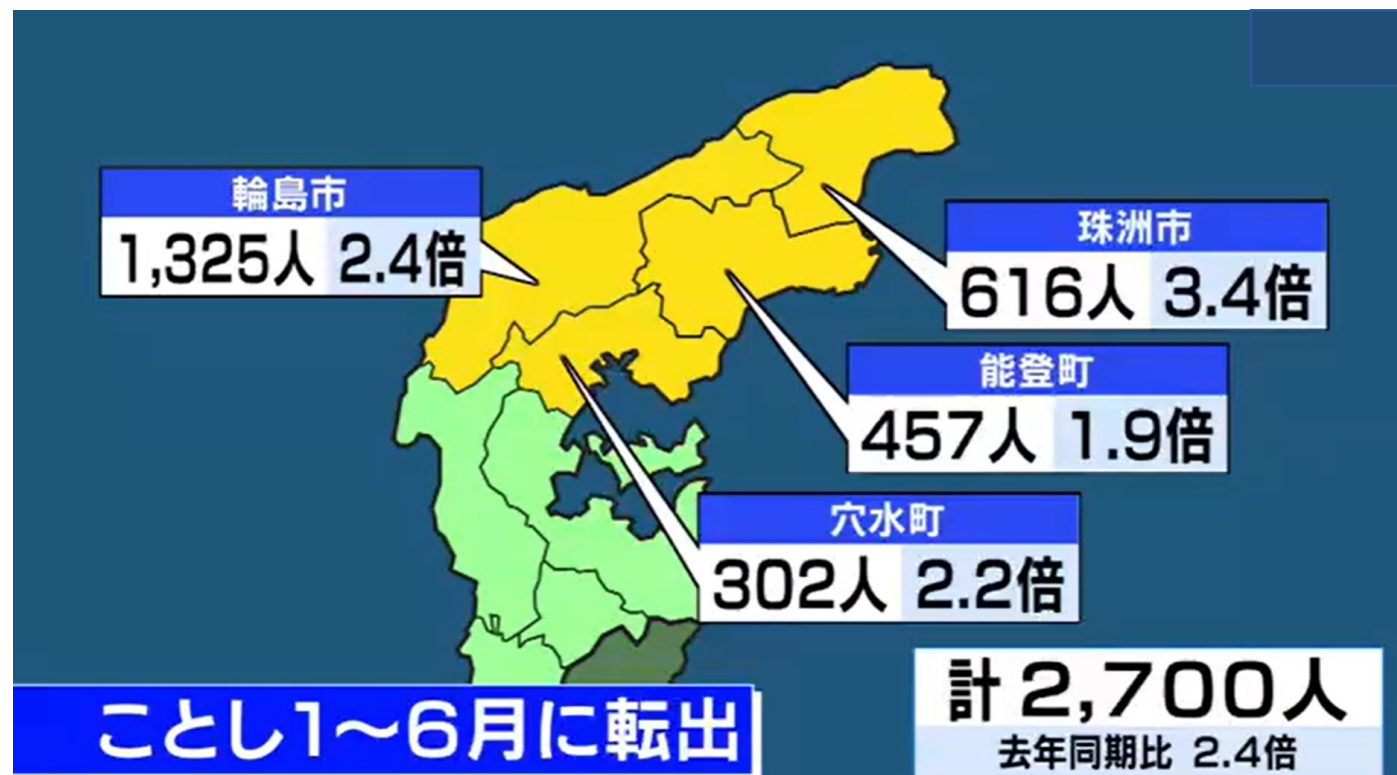
▲2,700人

前年同期比 2.4倍

6か月間の人口減少

▲3,230人

1月初対比 5.9%減



外来、入院患者が半減 奥能登の公立4病院

- 奥能登には市立輪島、珠洲市総合、宇出津総合、穴水総合の4公立病院がある。
- かねてより診療科の削減など機能低下が懸念されていた。昨年末、4市町の首長は、馳知事に対し、奥能登を統合的にカバーする新病院の設置を含め、県の支援を要請。地震の発生も受けて「検討会」が設置された。
- 検討会では、公立4病院の「外来、入院患者が半減した」との厳しい経営状況が報告された。住民の長期避難と介護施設の休止が要因として挙げられている。
 - 6月の外来患者は、22,175人で、昨年12月と比べて▲10,863人減少。
 - 6月の入院患者数は、5,640人で、昨年12月と比べて▲4,801人減少。
- 医療従事者も減少。
 - 6月末の看護師は335人と震災前から▲53人減少。医師は50人と▲5人減少。
 - 慢性的に不足する薬剤師や臨床検査技士、放射線技師、理学療法士らも減少。

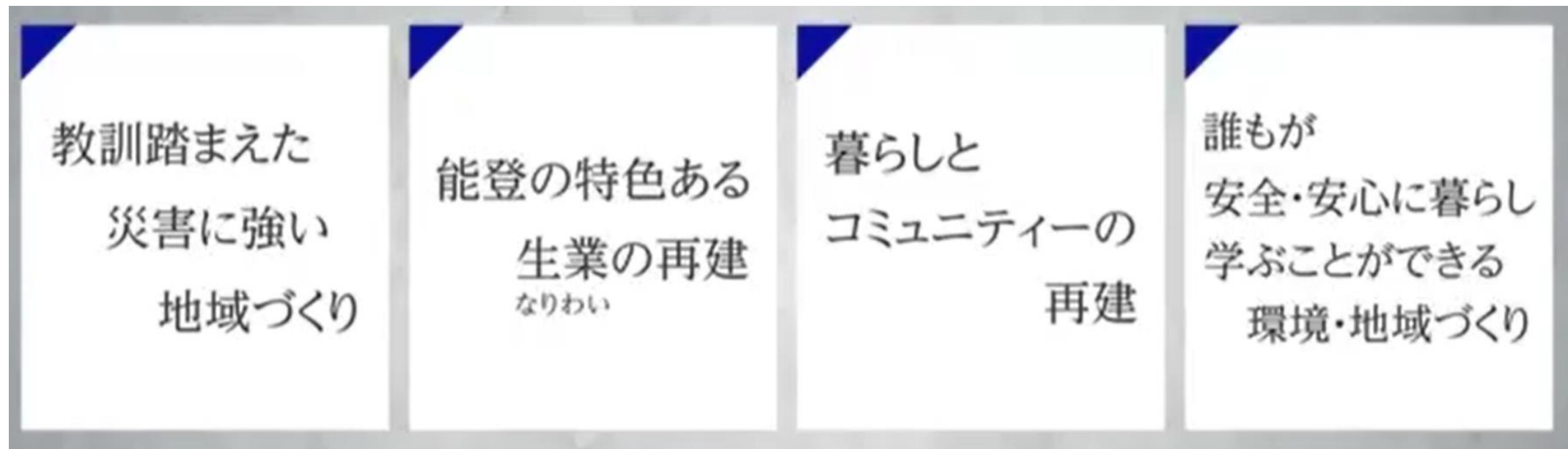
被災前の姿に戻すのではなく
新しい時代にふさわしい
地域をつくる
「創造的復興」を目指す



石川県知事 馳 浩



2024年6月（5月20日最終案とりまとめ）



— これで、未来創造への道筋が見えたと言えるだろうか？
まだまだ議論が必要ではないか？

皆さんと考えたいポイント

1. 被災直後、どうすれば命（災害関連死）を救えたのか
2. なぜ、復旧が進まないのか
3. 復旧から復興へ 何がポイントなのか
4. 災害大国ニッポン 阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの経験は生かされてきたのか